

第 38 回 BMS コンファレンス (BMS2011)
[The 38th Biological Mass Spectrometry Conference]

主催: 日本質量分析学会

会期: 2011 年 7 月 10 日(日) ~ 12 日(火)

場所: 箱根高原ホテル

〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻 164

<http://www.hakonekogenhotel.jp>

募集人数: 200 名(予定)

参加登録費: (2泊3日の合宿形式です。内訳は次のようになります。)

正会員 38,000 円(参加費 14,000 円、宿泊費 24,000 円)

非会員 48,000 円(参加費 24,000 円、宿泊費 24,000 円)

学生会員 26,000 円(参加費 2,000 円、宿泊費 24,000 円)

参加申し込み開始は 2011 年 4 月の予定です。

詳細は日本質量分析学会の HP をご参照下さい。 <http://www.mssj.jp/index-jp.html>

*****プログラム*****

メインテーマ: MS を通じて地球の未来に貢献する ~ 医学・薬学研究への貢献と挑戦 ~

初日

【グループディスカッションの紹介】

- (1) 代謝物解析(村井孝弘・第一三共)
- (2) 高分解能測定(佐藤貴弥・日本電子)
- (3) イオンモビリティ(明石知子・横浜市立大学大学院)
- (4) クロマトグラフィー(眞野成康・東北大学病院、浅川直樹・エーザイ)
- (5) 定量分析(山田康弘・田辺三菱製薬)
- (6) ECD、ETD(川村 猛・東京大学)
- (7) バイオ医薬の品質管理(山口秀人・Agensys, Inc.、山田尚之・味の素)
- (8) イオン化(大江知行・東北大学大学院)

【基調講演】

「研究開発は製薬企業の命(いのち)である」

浅野克彦(前キリンファーマ)

【グループディスカッション】 ()内はオーガナイザー

- (1) 代謝物解析(村井孝弘・第一三共)
- (2) 高分解能測定(佐藤貴弥・日本電子)
- (3) イオンモビリティ(明石知子・横浜市立大学大学院)
- (4) クロマトグラフィー(眞野成康・東北大学病院、浅川直樹・エーザイ)

【フリーディスカッション】

スポンサー企業のポスターおよび公募ポスターの前で、飲食を伴いながらの議論

2 日目

【応用講座】バイオ医薬

- (1) 質量分析による創薬の2つの例: 抗体医薬開発とエピゲノム創薬
児玉龍彦(東京大学)
- (2) ペルセウスプロテオミクスにおける ARMED 抗体医薬の開発戦略(仮題)
須藤幸夫(株)ペルセウスプロテオミクス)
- (3) 免疫制御ワクチンによる疾患治療の可能性
石井保之(理化学研究所)
- (4) マイクロ RNA と核酸医薬のマススペクトロメトリー
鈴木勉(東京大学大学院)
- (5) 核酸医薬の新機軸
和田猛(東京大学大学院)

【スポンサー企業の新技術紹介】

・10社程度の発表を予定。

【ポスターセッション】

・公募ポスターの講演

【懇親会】

【グループディスカッション】()内はオーガナイザー

- (1) 定量分析(山田康弘・田辺三菱製薬)
- (2) ECD、ETD(川村 猛・東京大学)
- (3) バイオ医薬の品質管理(山口秀人・Agensys, 山田尚之・味の素)
- (4) イオン化(大江知行・東北大学大学院)

【フリーディスカッション】

スポンサー企業のポスターおよび公募ポスターの前で、飲食を伴いながらの議論

3日目

【応用講座】イメージング

- (1) 分子イメージングによる創薬支援の可能性
塚田秀夫(浜松ホトニクス)
- (2) 高磁場 MRI による分子イメージング
青木伊知男((独)放射線医学総合研究所)
- (3) 2次イオン質量分析法(SIMS)による質量イメージング法の最前線
松尾二郎(京都大学)
- (4) 質量分析法の術中迅速診断への応用(仮題)
竹田扇(山梨大学)
- (5) イメージング質量分析法を用いた薬物の組織内分布の検討(仮題)
田中由香里(塩野義製薬)
- (6) 薬物動態研究におけるマスイメージングの可能性(仮題)
幸長秀雄(第一三共)

実行委員長: 明石知子(横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科)

お問い合わせ先: 第38回 BMS 事務局 E-mail: bms38@mssj.jp